



作文・詩・俳句・短歌

◎東陽小の作文については3月現在

将来の夢

東陽小六年

塚原 良子

看護婦になりたいな。それは父母も喜んでいたらと、看護婦の免許みたいのがあってとっておいたほうがいいと言ったからである。看護婦の看護学校は千葉県には銚子と千葉の二つしかなくて千葉の方がいいなと思っていたら千葉の方は倍率が高いというので困ってしまった。お父さんは、栄養士の方が病院で看護婦と同じように働らせてきゅうりよりも高く栄養のあるこんだてを作ればいいというから栄養士もいいけど友達で声優になりたいというのがあるから女優もいいな。もしかしたらスタジオで会えるかもしれないから。でも、いいや、やっぱり第一志望は看護婦。まあ夢で終わらないように、勉強がんばっていい高校行って専門学校いけるようにしよう。私って気が強くてわがままだから今のうちに性格なおしておこう。

卒業記念の
バランス台

東陽小六年

伊藤 香

赤、青、黄、みどり、いろいろな色で、よごれた電柱がみるみるうちにペンキで明るく変わっていく。見ているだけで楽しさが増してくる。高く、低く、また高く飛んだり、はねたり、うまくいくといいな。きれいな色と楽しい工夫が学校中の人気のまとなって大ぜいの友達が集まってくるだろう。元気な声がひびきわたるように卒業記念のバランス台を心をこめて作っているわたしたち。最後に卒業生全員の手形。大きい手、広い手、かわいいうちの手、よく見ると一人一人の手がみんなちがう。何年かたつたら合わせてみよう。

ぼくのゆめ

東陽小六年

三原 祐一

ぼくは、これから先、中学校、高等学校を卒業したあと、警察学校へ行き、将来、刑事になってみたいと思います。理由は、ものすごく刑事の仕事にあこがれているし、一度でいいからやってみたいという気持ちがあるからです。

らです。

しかし、刑事は、いろいろな面ですぐれていなければなりません。とくに大切なのは、現場検証の時の観察力、それから目やすをつける推理力、いつも冷静で、おちついて行動をとる判断力、犯人の顔などを覚えておく記憶力、それに、なんといっても体力が必要です。このほかに、射撃、空手や拳法など、手で戦う方法などとたくさんあります。けれども、まだ、ぼくにはそれらの技術がそなわっておりません。なるべく早くそなえてりつばな刑事になり、犯罪人をどんどんつかまえて、日本から犯罪をなくすように努力するのがゆめです。



音たてて野川流るゝ猫柳

大木静波子

鋤返す畑一面は陽炎えり

越川 雪枝

短冊に流す仮名文字春の詩

鈴木 つね

目刺買う犬吠崎の陽はまぶし

岩田 慶雄

垣根なき隣りの家や目刺焼く

越川せつ子



歩く、走るは健康の基本です。いい季節の中を背筋を伸ばしてさつそうと歩つてはいかがですか。老化はまず足からやってきます

生活の中で、歩くチャンスが少なくなりました。機会はあるのに、少しの距離でもすぐ乗り物を利用して、それを見逃がしているといったほうがいいでしょう。ラクだからと歩かないでいると、どんどん体は歩く能力を失っていることをご存知ですか。使わない部分は退化するというのは、動物